

川越市市制施行90周年記念事業

第1回川越市子ども議会会議録

平成24年11月14日

平成二十四年十一月十四日開会

川越市市制施行九十周年記念事業 第一回川越市子ども議会会議録目次

議事日程	一	一派「GREEN team」	一一
議場に出席した議員(三八人)	一	一派「みんなを安全にし隊」	一三
欠席議員(なし)	一	休 憩(午前九時五十七分)	一五
議場に出席した理事者	一	議長、副議長交代	一五
議場に出席した事務局職員	二	再 開(午前十時十分)	一五
映像記録及び会議録作成協力者	二	一派「かわごえお仕事事務所」	一五
開会式(午前九時〇分)	二	一派「環境の川越」	一六
市長挨拶	二	一派「私たちが変える！川越」	一八
市議会議長挨拶	三	一派「ときもファミリー」	一九
子ども議会議員自己紹介	四	日程第 四 決議第 一号 ともに歩む未来に関する決議	一一
理事者並びに議会事務局長紹介	四	一一
尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科及び川越市立川越高等学校OA部紹介	四	提案理由の説明(奥泉彩香議員、市岡星南議員)	一一
子ども議会議長及び子ども議会副議長選任と子ども議会議長挨拶	四	質疑・討論・採決	一一
開 会(午前九時十七分)	五	閉 会(午前十時四十六分)	一一
日程第 一 会期決定について	五	閉会式(午前十時四十六分)	一一
日程第 二 会議録署名議員指名について	五	子ども議会副議長挨拶	一一
日程第 三 一般質問について	五	教育長講評	一三
一般質問	五	終 了(午前十時五十一分)	一四
一派「交通ネットワーク」	六	会議の結果	一四
一派「STOPポイ捨てきれいな川越」	七	会議録署名	一五
一派「ストップ無駄遣い！」	九	参考資料(一般質問通告事項書)	一六
			参考資料(各会派の掲示資料)	一八
			子ども議会だより	三三

川越市市制施行九十周年記念事業 第一回川越市子ども議会会議録

議事日程

平成二十四年十一月十四日午前九時開議

日程第一 会期決定について

日程第二 会議録署名議員指名について

日程第三 一般質問について

日程第四 決議第一号 とともに歩む未来に関する決議

欠席議員（なし）

議場に出席した理事者

議場に出席した議員（三八人）

第一番	野村 祐輔	議員	第二番	奥泉 彩香	議員
第三番	松田 千尋	議員	第四番	望月 聡	議員
第五番	山田 眞椰	議員	第六番	小松 巧	議員
第七番	福垣 萌香	議員	第八番	白石 沙哉	議員
第九番	松本 陽介	議員	第一〇番	市岡 星南	議員
第一番	江島 竜星	議員	第二番	澤田 綾乃	議員
第三番	廣瀬 毬子	議員	第四番	村中 皓	議員
第五番	井上 結聖	議員	第六番	鈴木 優平	議員
第七番	芳賀 一寿	議員	第八番	西原 実優	議員
第九番	小野澤 広樹	議員	第二〇番	山川 梨花	議員
第一番	内田 瑠菜	議員	第二番	椋澤 彩乃	議員
第三番	田邊 有紗	議員	第四番	西野 航平	議員
第五番	吉崎 奈園	議員	第六番	藤村 紗耶	議員
第七番	佐藤 理子	議員	第八番	内田 優衣	議員
第九番	奥原 梓	議員	第二〇番	山元智太郎	議員
第三番	高橋 颯	議員	第三番	内田龍之介	議員

第三三番	吉田絵里佳	議員	第三四番	菊嶋 彪人	議員
第三五番	武田 淳志	議員	第三六番	姫野 愛菜	議員
第三七番	貞松菜々子	議員	第三八番	吉田 周平	議員

市長	川合 善明
副市長	風間 清司
副市長	穴戸 信敏
上下水道事業管理者	久都間 益美
政策財政部長	福田 司
総務部長	小川 倫勝
市民部長	木島 宣之
文化スポーツ部長	今井 孝雄
福祉部長	栗原 薫
保健医療部長	水野 典子
環境部長	森 政一
産業観光部長	宇津木 二郎
都市計画部長	藤條 聡
建設部長	野原 英一
会計管理者	岸田 政明
経営管理部長	牛窪 佐千夫
事業推進部長	飯 嶋 茂
教育長	新井 孝次
教育総務部長	根岸 孝司

議場に出席した事務局職員

学校教育部長 猪鼻 幸正

議会事務局長 岡部 宏

副事務局長兼議事課長 大河内 徹

広聴課長 野口 昭彦

広聴課主任 小久保 辰也

映像記録及び会議録作成協力者

尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科二年 関口 宜樹

同 高橋 沙瑛

同 疋田 如

同 松本 清志郎

同 箕輪 春花

同 水谷 有貴

同 秋濱 知輝

川越市立川越高等学校情報処理科三年 石田 優里

同 野口 和香奈

同 二年 長島 いちる

同 小山田 衣里

同 国際経済科二年 高山 七響愛

開会式（午前九時〇分）

野口昭彦広聴課長 只今から、市制施行九十周年記念事業 第一回川越市子ども議会の開会式を開催いたします。私は進行を務めさせていただきます。広聴課長の野口でございます。どうぞ、よろしく

お願いいたします。

はじめに、市長並びに市議会議長から、皆さんに對しまして挨拶がございます。それでは、川合市長からお願いいたします。よろしくお願いいたします。

市長挨拶

（川合善明市長登壇）

市長 皆さんおはようございます。市長の川合でございます。

本日は、市制施行九十周年記念事業川越市子ども議会にお集まりをいただきましてありがとうございます。

開会に先立ちまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、川越市は、大正十一年に埼玉県内で最初に市になり、今年でちょうど九十年になります。

この九十周年という節目に、三十年ぶりに子ども議会を開催できたとすることは、私といたしましても、誠に喜ばしいことと思っております。

この子ども議会は、皆さんのように、川越市の未来を担っていく子どもたちに、議会の重要性を学んでいただくことや、自分たちが暮らしている、川越というまちに関心をもっていただくこと等を目的に開催いただきました。

これからの川越を創って行く皆様にとって、この議事堂で議会運営を体験することや、自分たちが暮らしているまちについて考えることは、とても貴重な経験になることと思います。子ども議会で体験したことを、未来のために役立てていただければと思っております。

す。

私も、皆さんのような若い人たちのご意見や、自由な発想に触れさせていただくことを、とても楽しみにしておりますので、いろいろなご提案をお聴かせいただければありがたいと思っております。

これまで、皆さんが準備のための勉強会で熱心に取り組んできた様子は、担当からも良く聞いております。私たちも真剣に考え、お答えさせていただきます。

川越市がより良くなっていく道を、皆さんと、ともに考え歩んで行く。今日の子ども議会がそんなきっかけになれば幸いであると思っております。

最後に、今日お集りの子ども議会議員の皆さんをはじめ、保護者の皆様、また、子ども議会の記録作成にご協力をいただいております、尚美学園大学並びに、川越市立川越高等学校の皆様へのお礼を申しあげまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。

市議会議長挨拶

野口昭彦広聴課長 続きまして、川越市議会の小野澤議長、よろしくお願いいたします。

(小野澤康弘市議会議長登壇)

小野澤康弘市議会議長 皆さんおはようございます。ご紹介いただきました、川越市議会議長の小野澤康弘と申します。今日は、ようこそおいでいただきました。また、「苦労さまで」でございます。只今、

川合市長さんよりご挨拶がありましたとおり、本年は、川越市が九十周年を迎え、その記念といたしまして、たくさんの事業が行われているわけであります。本日の、この川越市子ども議会も、市制施行九十周年の一環として開催されるわけでございます。そのような中で、皆さんにおかれましては、本当に今日は「苦労さまで」でございます。

さて、皆さんも既にご承知かと思いますが、議会とは市民から、直接選挙で選ばれた議員によって構成をされておりまして、市民の意思を代表し、決定をしていく合議制の機関と言われます。また、先ほど市長さんもご挨拶がありました。市議会議員と同じように、選挙で選出されました市長さんは、この議会の議決に基づいて事務の事業を執行していく立場でございます。そのようなことから、私たちの議会は、議決機関と呼ばれまして、また、市長さんの方は、執行機関と呼ばれているわけでございます。両者はお互いに対等の立場でありまして、お互い独立をして均衡を保ちながら、より良い市政のために、日頃、活動をしているわけでございます。

今日は、これから子ども議会が開催されるわけでありまして、今、皆さんが着座しております、この議事堂を使いまして、本式の議会という形で行われることは、皆様にとっては大変に貴重な体験になるかと思えます。また、今日の進め方は、一般質問という形の議事が進められるとお聞きしておりますが、日頃の直面した問題や、また、皆さんの地域社会における諸問題等を、この場で討論をしていただくことは、とても意義深いものがあると思えます。

どうか、皆さんの目から見た、思っていることや感じていることを、素直にお話をしていただき、本日のこの子ども議会が意義深いものとしていただきまして、そして、この子ども議会を大いに盛り

上げていただくよう、私からはお願いしたいと思います。

最後に、今日のこの子ども議会を開催されるにあたり、学校の先生方をはじめまして、保護者の方、そして関係者の方々にご尽力いただきましたことを、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げますと思います。今日の子ども議会が成功裏に終わります事をご祈念申し上げます、簡単でございますが開会のご挨拶とさせていただきます。

今日は皆さん、頑張ってください。

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。

子ども議会議員自己紹介

野口昭彦広聴課長 続きまして、ご出席いただきました、子ども議会議員並びに出席理事者の紹介を行います。まず、子ども議会議員の皆さんから自己紹介をお願いします。自己紹介は議席番号順に行います。自分の席で起立して、大きな声で学校名と名前を言うてください。それでは、第一番から順にお願いします。

(各子ども議会議員起立により自己紹介を行う。)

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。

理事者並びに議会事務局長紹介

野口昭彦広聴課長 続きまして、出席理事者を紹介いたします。

(各理事者広聴課長の点呼に従い、起立により一礼する。)

野口昭彦広聴課長 以上で出席理事者の紹介を終わります。

また、本日は、議会事務局から事務局長の岡部が出席しておりますので、併せて紹介させていただきます。

(岡部宏事務局長起立により一礼する。)

尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科及び川越市立川越高等学校
O A部紹介

野口昭彦広聴課長 なお、先ほど、市長の挨拶にもございましたが、子ども議会の運営にあたりましては、映像記録として、尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科の皆さん、また、会議録作成として、埼玉県ワープロ競技大会で団体優勝をいたしました、川越市立川越高等学校O A部の皆さんにご協力をいただいておりますので、この場を借りてお礼申し上げます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

子ども議会議長及び子ども議会副議長選任と子ども議会議長挨拶

野口昭彦広聴課長 それでは、これから、子ども議会を開催します。

議会開会の後、はじめに議長選挙を行うこととなりますが、今回は六月二十三日の勉強会で議長、副議長を選出しておりますので、紹介いたします。

まず、南古谷中学校の山元智太郎議長、次に、芳野中学校の内田瑠菜副議長、以上の二人をお願いいたします。副議長には後ほど挨拶をお願いいたしますが、まず山元議長からご挨拶をお願いいたします。

(山元智太郎議長登壇)

山元智太郎議長 本日、第一回川越市子ども議会議長に選任されました、山元智太郎です。

五月の子ども議会議員当選証書付与式に始まり、数回の勉強会を行い、川越市の仕事や市議会の仕組みなど学んでまいりました。私たちの子どもの目線より、未来の川越のことを考えて本日に至りました。

ご指導いただきました市長さんをはじめ、市役所の職員の方々に、本日無事開催できます事を大変嬉しく思い、感謝申し上げます。

子ども議会の議員、そして議長としての自覚と誇りを持ち、一生懸命努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。(拍手)

野口昭彦広聴課長 ありがとうございます。ここからは、山元議長に進行していただきますので、小野澤議長と議長席を交代していただきます。

小野澤議長ありがとうございます。

(小野澤康弘市議会議長退席)

野口昭彦広聴課長 以上で開会式を終わらせていただきます。

(午前九時十六分)

開会(午前九時十七分)

山元智太郎議長 出席議員が定足数に達しておりますので、平成二十四年第一回川越市子ども議会は成立しております。

これより開会いたします。

日程第一 会期決定について

山元智太郎議長 ただちに会議を開きます。

日程に入ります。

日程第一、会期決定についてを議題とします。

お諮りいたします。

川越市子ども議会の会期を本日一日間とすることに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

山元智太郎議長 全員起立でありますので、川越市子ども議会の会期は、本日一日間とすることに決定しました。

日程第二 会議録署名議員指名について

山元智太郎議長 日程第一、会議録署名議員指名についてを議題とします。

会議録に署名する議員は、

新宿小学校 望月 聡 議員

霞ヶ関東中学校 佐藤 理子 議員

寺尾中学校 高橋 颯 議員

の三人といたします。

日程第三 一般質問について

山元智太郎議長 日程第三、一般質問についてを議題とします。

発言の通告がありましたので、順次、発言をお願いします。

「交通ネットワーク」。

(会派「交通ネットワーク」登壇)

奥泉彩香議員 私たちの会派名は「交通ネットワーク」です。

私は代表者の川越小学校の奥泉彩香です。会派の仲間を紹介し
ます。

川越第一小学校の野村祐輔です。

芳野小学校の江島竜星です。

山田小学校の澤田綾乃です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

江島竜星議員 私たち「交通ネットワーク」は、自転車レーンにつ
いて一般質問をします。

理由は、川越市は車や自転車の通りが多く、事故の原因となつて
しまつので、安全な道路を増やして事故防止につなげたいと思つた
からです。

自転車レーンについていくつか質問しますので教えてください。

一つ目は、川越市内での歩行者と自転車の接触事故は、自転車レ
ーンがあるところと、無い所ではどちらの方が多いのですか。

二つ目は、大通りに自転車レーンをもっとつくらないのですか。
教えてください。

澤田綾乃議員 私たち「交通ネットワーク」は、川越市に自転車レ
ーンが少なく、危ないということから、整備された、安全な道路に
なつてほしいと考えました。

自転車レーンをつくれれば、歩行者と自転車の接触事故や交通事故
の防止にもつながると思つています。そうすれば事故が少ない川越
になります。

みなさんは、川越での事故が少なくなつてほしいですよ。

だから、自転車レーンができるだけつくり、将来は、今より事故
が少なく、安心できる川越になつてほしいと考えます。お金がかか
るのは知っていますが、できるだけつくってください。

これで「交通ネットワーク」の一般質問を終了いたします。(拍手)
(木島宣之市民部長登壇)

木島宣之市民部長 おはようございます。

自転車レーンについてご答弁申し上げます。

川越市内での歩行者と自転車の接触事故について、自転車レーン
があるところと、無い所ではどちらの方が多いかについてござい
ますが、そのような統計は、警察でもとっていないということござ
います。どちらが多いのか正確なお答えはできませんが、自転車
レーンのある場所であれば、歩行者と自転車が分離されますので、
接触事故の危険も減ると思われれます。

次に、大通りに自転車レーンをもっとつくらないのですかとのお
尋ねでございますが、自転車レーンは、自転車と歩行者、自転車と
自動車の事故を防ぐうえで、とても有効なものです。一定の道路
の幅を確保できなければ自転車レーンを設けることはできないため、
大通りであっても自転車レーンをつくれないう道路もあります。

そのため、今後、整備する道路につきましては、自転車レーンの
設置も考えた整備をしていく必要があると考えております。

なお、現在までの川越市内における自転車レーンの整備状況でこ

ざいますが、川越市役所前から初雁球場前までの六三〇メートルと、本川越駅前から川越駅西口に向かう途中にある、赤心堂病院前までの五二〇メートルの二区間で、合計一、一五〇メートルとなっております。

会派「交通ネットワーク」の皆さんからいただいた、自転車レーンについてのご提案は、自転車に関係する交通事故を減らす方法として非常に有効であると思っております。また、皆さんが、交通安全について高い意識をもっていることをお聞かせいただき、とてもうれしく思っております。

ご質問にもあります様に、交通事故を減らしたいという思いは私たちも同じでございます。そのため、市では道路整備のほかにも、警察などと協力をしながら、交通ルールやマナーの啓発にも力を入れているところでございます。

自動車を運転する大人も、自転車を運転する子供たちも、交通ルールを守り、お互いに気をつけ合いながら、交通事故の無い川越市にしていきたいと考えておりますので、子ども議会の皆様も、川越市の交通安全にご協力くださるようお願い申し上げます。

以上でございます。

山元智太郎議長 これでは「交通ネットワーク」の質問を終わります。

次に、「STOPポイすてきれいな川越」。

(会派「STOPポイすてきれいな川越」登壇)

高橋颯議員 私たちの会派名は「STOPポイすてきれいな川越」です。

私は代表者の寺尾中学校の高橋颯です。

会派の仲間を紹介します。

野田中学校の椋澤彩乃です。

城南中学校の田邊有紗です。

芳野中学校の内田瑠菜です。

砂中学校の内田龍之介です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

田邊有紗議員 私たち「STOPポイすてきれいな川越」は、川越のごみのポイ捨て状況について一般質問をします。理由はごみの清掃活動や、川や森林をきれいにする活動が少ないからです。

川越のごみについて質問がいくつかあるので教えてください。まず始めに、川越市内で、ごみに関する活動をしていますか。川越のまちをきれいにする工夫や考えはありますか。タバコなども特定の場所で吸う所を措置しているなどの活動はありますか。教えてください。

私たちは、私たちのまちが今よりも、より良い所になることを望んでいます。まちを見るとある場所では「そこにごみをポイ捨てすると罰金になる」と看板に書いてありました。でもその場所には、レジ袋やコンビニのお弁当の食べ終わったごみなどが散乱していることを覚えています。罰金になるとわかっていてもごみを出す人がいるというのが今の状況です。もっと厳しくあるべきだと思います。内田龍之介議員 ほかに、山や川などに大きな家電製品を捨ててしまう話を聞いて、「このままだと自然が崩れてしまつて気がしました。そこで私たちの会派はごみのポイ捨て対策として目標を考えました。それは、ポイ捨てをなくして川や森林をきれいにします。自然だけではなく、まちにでも出来ることだと思っています。そしてこの目標を達成するためには、まち全体で定期的にごみ拾いをして、

ポスターで呼びかけることを提案します。具体的には、学校や地域の人に協力してもらい、まちや近くの川や森林をきれいにすることが必要だと考えています。ポスターは、今までのように小中学校の子供たちに依頼するなどして、目の届く所に貼ることをしたほうがいいと思います。

これで私たち「STOPポイすてきれいな川越」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(森政一環境部長登壇)

森政一環境部長 「ご質問にお答えいたします。

まず、皆さんがまちの環境に興味を持ち、もっと川越のまちをきれいにしていきたいと思っっていることを大変ありがたく、また、心強く思っています。

まちをきれいにしようとする一番大きな活動には、市内全体で「ごみ拾いをする」「ごみゼロ運動」があります。

これは、年二回、だいたい五月と十月の終わりに実施している運動で、市内の各自治会や団体などの人たちが、地域に散乱しているごみを拾って、まちをきれいにしようとするものです。今年の五月の「ごみゼロ運動」には、三百二団体・五万四百八十六の方が参加されました。

このほかに、自分たちでまちをきれいにするために、清掃活動を行っている人たちや、これから清掃活動を始めようとしている人たちに、清掃用具などを提供してお手伝いをする事により、住み良い美しいまちづくりをめざすという制度を設けています。この制度を環境美化活動支援制度と呼んでいます。

続きまして、川越のまちをきれいにする工夫についてのご質問で

すが、まず、質問の中にもありましたように、ポイ捨てをしないようにする看板の配布を行っています。これは、各自治会のほか、希望する人にもお配りし、地域をきれいに保つために利用してもらっています。

そのほかに、道路沿いに花壇をつくるなど、まちの中にきれいな場所をつくる活動のお手伝いをしています。たくさんの方が咲いている、きれいな場所には、ごみをポイ捨てしにくくなるからです。

また、皆さんも夏休みに描いたことがあると思いますが、「3R推進とごみの散乱防止ポスターコンクール」や、「川越市環境月間ポスターコンクール」を行い、市内の小中学生の皆さんから、作品のご応募をいただいています。その絵をもとに作成したポスターを、各自治会の掲示板などに貼っていただいているのを見たことがあります。

このように、川越市ではごみのポイ捨てをしない、きれいな川越のまちをつくるため、市民全体で工夫することができるような活動を行っています。

続きまして、タバコに関する活動についてのご質問ですが、川越市内では、市内全部の道路上でタバコを吸わないように努力しなければならぬという条例を定めています。

また、川越駅のまわりなど、人通りの多いところでは、道路の上でタバコを吸ってはいけない地区を指定しています。この地区の中には、そこでなら、タバコを吸うことができる、特定の場所を設けています。

以上のような取り組みの中で、皆さんと一緒に、ポイ捨てをなくして、きれいな川越になるように努めているところでございます。

以上でございます。

(川合善明市長登壇)

川合善明市長 「STOPポイすてきれいな川越」の皆さんのご提案にお答えいたします。

皆さんが、まちをきれいにし、もっと住み良い環境にしていきたいと考えていることを、大変ありがたく思います。

ごみのポイ捨ては、川越市に限らず、多くの地域が抱えている社会問題だと思います。皆さんもお気付きのように、地域の皆様にこまめに掃除をしていただき、いつも、きれいにしている場所にはあまりポイ捨てもないという傾向があると思います。きれいにしている場所にはごみが捨てにくい。という心理も影響しているからだと思います。

ご提案の様に、みんなが住むまちを、みんなで協力し合ってきれいにすることは、とても重要なことだと思います。その様な意識が、大きく広がって行くことによって、ポイ捨てもなくなり、きれいな川越につながっていくことだと思っております。

そのためには、ご提案いただいた、まちの定期的な清掃活動については、今後も「ごみゼロ運動」への参加を、地域の皆様に呼びかけていくほか、清掃活動のお手伝いをする制度のPRも引き続き行っていききたいと思います。

また、部長が申し上げましたポスターコンクールにつきましても、今後とも続けていきたいと考えておりますので、子ども議会の皆さんにも、積極的に応募していただければ、とてもうれしく思います。よろしく願います。

山元智太郎議長 これで「STOPポイすてきれいな川越」の質問を終わります。

次に、「ストップ無駄遣い！」。

(会派「ストップ無駄遣い！」登壇)

望月聡議員 私たちの会派名は「ストップ無駄遣い！」です。

私は代表者の新宿小学校の望月聡です。

会派の仲間を紹介します。

武蔵野小学校の松田千尋です。

大塚小学校の廣瀬毬子です。

福原小学校の村中皓です。

これから一般質問を行いますので、よろしく願います。

村中皓議員 私たち「ストップ無駄遣い！」は、川越市の行政の無駄遣いについて一般質問をします。理由は、川越市が、どこに、どのように税を使っているかが気になったからです。

川越市の行政について、いくつか質問しますので教えてください。市と市民で話す場を設けているのか。市と市民の意見は合っているのか教えてください。

市と市民が話し合うことでより良い施設を建てることのできると思っております。また市民と話し合うことで市民が困っていることが知り、対策をたてることができると思います。そのためには、市と市民が定期的に話し合うことが必要だと思います。健康者だけでなく、障害者にも意見を話してもらいたいと思います。

松田千尋議員 そして、ただ話すだけではなく、話し合いの中から、本当に必要ものが決まって行くようになれば幸いです。

それは、市と市民の意見が一緒になってつくられた建物は、多く

の人に使用される物になると思ったからです。

また、あまりニーズがない物に関しては、ほかの建物と一緒にして、一つの建物にする事で、土地を譲渡のに充てるお金をほかの市民の困っていることに充てることができると思いました。

まちがきれいだと、ほかの地域からの移住者が増え、さらに豊かになると思います。今現在川越市の人口は減っていく試算がでていますが、将来この予想より人口が多く、にぎやかで豊かな川越市になってほしいと思っています。

これで「ストップ無駄遣い！」の一般質問を終わりにします。(拍手)

(福田司政策財部長登壇)

福田司政策財部長 「ご質問にお答えいたします。

はじめに、市と市民で話す場を設けているのか、とのご質問についてです。

市では、実施中の事業や今後の計画などについて、広く市民の皆様からご意見やお話をいただくよう努めています。

その方法といたしましては、大きく二つに分けられます。

一つ目は、市の職員が地域に出向き、市民の皆様と直接顔を突き合わせて、話し合いを持つといった方法です。この中には、川合市長が直接市民の皆様と話し合う「タウンミーティング」というものがあります。この「タウンミーティング」は、平成二十一年度から実施しており、これまでに四十八回開催しています。

そのほかに、各担当職員が個々の計画などについて、市民の皆様にご説明し、ご意見をいただきながら進めていくような場を設けたり、また、ある施設を建設する計画をつくる段階で、より良い施設

となるよう、利用者をはじめ関係する市民の方などによる集まり、これを懇話会と呼んでおりますが、そういった会をつくって、その中で検討していただく、といったことも行っております。

二つ目は、月二回発行の「広報川越」や、ホームページなどを使って、今、市ではどんなことを行い、どんな事業や施設を計画しているのか、そういった情報を市民の皆様に分かりやすく伝えながら、それに対するご意見などをいただくといったものでございます。

このご意見などをいただく方法には、電話や市役所窓口で直接にお話をいただく方法もありますが、そのほかに、「市民意見箱」というものを出張所などに設置し、市民の皆様から自由にご意見やご質問を書面でいただき、それにお答えするかたちで市の考え方を説明させていただく方法があります。この「市民意見箱」などは、間接的ではありますが、話し合いの場の一つとなるものと考えております。

次に、市と市民の意見はあっているのか、といったご質問についてです。

ただいまの、一点目のご質問でお答えいたしましたように、話し合いの場を設けることで、市民の皆様が必要とされているもの、より多くの方に喜ばれるような施設整備や事業の実施が進められているものと考えています。

もちろん、市民の皆様の中には様々な考えをお持ちの方がおられますので、すべての方に納得いただけるといったわけではありません。

しかしながら、市にとりまして、また市民の皆様にとりましても、無駄使いをすることなく、より良い事業、施設整備を行っていくことが必要ですので、話し合いを進めていくことにより双方の理

解も深まり、まとまっていくものと考えております。

会派「ストップ無駄遣い！」の皆様のご指摘のとおり、今後もこういった取り組みを進め、更に、多くの方に川越市に住んでいただき、にぎやかで豊かなまちとなるよう頑張つてまいりたいと考えております。以上でございます。

(風間清司副市長登壇)

風間清司副市長 会派「ストップ無駄遣い！」の皆様からいただいたご提案について、お答えいたします。

まず、まちづくりを進めるに当たっては、今、いくつかの大きな課題があります。その一つが人口減少、少子高齢化です。今、川越市を含め多くのまちで、子どもの数が減り、高齢者の数がどんどん増えています。どうようなことが問題なのかと申しますと、子どもの数が減り、人口が減少すると、将来の働き手の数が減つてしまい、単純に言いますと税金を納めていただけた方が少なくなるといふことでございます。例えば、皆さんの学校ですが、校舎を建てたりするには、多くの人が働いて納めていただいた税金が必要です。そういった必要なお金が減ってくるということになります。

一方、人は歳をとつてくると、どうしても体力的にも仕事をすることが難しくなつてきます。また、病気になる割合も増えてきます。高齢者の皆さんが、できるだけ病気になるまい、健康で安心して生活を送れるような取り組みが、今後、ますます必要とされていきます。

また、皆さんの学校ですが、校舎や体育館の耐震補強の工事はすべて終わりますが、建物自体、建ててからの年数がだいぶ経つていきます。つまり、学校の建物も歳をとつてきていて、あちこちでケガ

や病気になり、治療、つまり修理が必要になってきているということでございます。

学校の建物のほかに、公民館や橋などもそのようになっていきます。年数がたつて修理が必要となつてくる建物などが、どんどん増えています。

別の言い方をすれば、これからは、市に入ってくるお金、税金が減つて、出ていくお金、必要とされるお金が増えていく、ということになります。

今、このような状況にあることを、ぜひ知っておいてください。そこで只今、会派「ストップ無駄遣い！」の皆様には、的を射た大切なご提案をいただきました。

必要とされるお金はどんどん増えていく、しかし、使えるお金は増えていかない。ではどうするか、まさしく、皆さんの党派名どおり、無駄遣いをしないで、本当に必要とするものに使っていく、ということだと思えます。

様々なことについて、市と市民の皆様と話し合いを持ち、色々意見を出し合います。いくら市で良いと思つても、市民の皆様があまり使われないようなものをつくつても仕方ありません。話し合いの中から、本当に必要とされるもの、皆さんに喜んでいただけるもの、そのようなものが出来上がってくるのではないかとということでございます。そして、あまり必要のないもの、ニーズのない物は他の建物と一緒にして、その分のお金を市民の困っていることに充てる。といったご提案は、川越市の課題を認識し、先を見据えた、非常に大切な考え方だと思います。

市といたしましたでは、先ほどの部長の答えにありましたように、様々な話し合いの場を設けてきておりますが、これからも、只今こ

提案をいただいたような取り組みを進めてまいります。そして、皆さんがずっと住み続けたいくなる、また、他のまちの人が住んでみたくなる、そんな川越市を皆さんと一緒につくっていききたいと思いますので、よろしくお願ひします。

山元智太郎議長 これです「ストップ無駄遣い！」の質問を終わります。

次に、「GREEN team」。

(会派「GREEN team」登壇)

西野航平議員 私たちの会派名は「GREEN team」です。

私は代表者の川越第一中学校の西野航平です。

会派の仲間を紹介します。

富士見中学校の吉崎奈園です。

寺尾中学校の吉田絵里佳です。

山田中学校の菊嶋彪人です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願ひします。

吉田絵里佳議員 私たち「GREEN team」は、川越市の緑化について一般質問をします。理由は、川越には緑が少ないと思うところがあつたからです。

環境について、いくつか質問しますので教えてください。川越市内に緑はどのくらいあるのですか。緑を増やすため、どのような活動をしていますか。車がたくさん走っているのに、まちに緑がないので空気が悪いのではないか、観光地に植物は植えないのですか。教えてください。

川越市に緑を増やして、人も動物も快適な場所をつくってほしい

と思います。そのためには、住宅街や観光地などに植物を増やしたり、花壇をつくる活動を増やした方がよいと思ひます。

吉崎奈園議員 また小さめの木をたくさん植えたり、所々に犬の散歩をすることで、水飲み場を用意してください。

その植えた木は、月に二、三回以上地域の人たちで手入れをすればよいと思ひます。そうすれば、川越市内にも緑が増えて、空気がきれいになると思ひます。

ぜひ、この川越に、沢山の緑を増やして、環境のいい、みんなが気持ちよく過ごせる場所になってほしいと思ひています。

これで私たち「GREEN team」の一般質問を終わりにします。(拍手)

(森政一環境部長登壇)

森政一環境部長 「GREEN team」の皆さんのご質問にお答えいたします。

川越市内に緑はどのくらいあるのですかというご質問ですが、緑には、林の木や草花のほかに、公園、公共施設にある緑、そのほかには田や畑、河川などが含まれます。川越市には、約五、九〇〇ヘクタールの緑があり、川越市の面積の約半分、五十四%を占めています。

次に、緑を増やすために、どのような活動をしているかというご質問ですが、工場などの大きな建物を建てる際には木を植えてもらっています。

また、新しく生け垣をつくる時や、家やビルの屋上に木を植えたり、壁を植物で覆ったりする時に、掛かった金額の一部を市から補助しています。

そのほかに、皆さんにご協力をいただいた緑の募金を使って、学校や市の施設などに木を植えたり、苗木を配布するイベントを行っています。このイベントは、昭和五十八年から行っており、これまでに約七万本の苗木を配布しました。

次に、まちに緑がないので空気が悪いのではないかというご質問ですが、木などの緑は、光合成を行う事により、車から出る排気ガスなどの汚れた空気を吸収し、きれいな空気をつくり出しています。このようなことから、まちに緑を増やすことは大切なことであると考えています。

川越市には住宅などの建物がたくさんあり、木など植える場所に限りはありますが、公園や公共施設の庭に木などを植えることで、まちに緑を増やしています。

また、川越市は、多くの人が訪れる観光地ですので、訪れた人に観光スポットでの楽しい思い出とともに、緑あふれるまちという印象が残るように、まちに緑を増やしていきたいと考えています。

住宅街や観光地などに植物を増やすには、市役所と市民の皆さんで、協力しあって実現していければよいと考えています。まずは、皆さんの家でも、花を育ててみてください。

花壇をつくる活動を増やした方がよいとのご提案についてですが、川越市には、年に二回花を配り、地域の皆さんに世話をさせていただく「市民花壇」という制度があります。平成二十四年十月までに六十箇所の「市民花壇」がつくられています。これからも、地域の皆さんの力を借りながら、さらに増やしていけるようにと思います。

また、小さめの木を植えたり、散歩する犬の水飲み場を用意してほしいとのご提案がありました。皆さんがともまちのことや緑の大切さを理解していると感じました。提案された内容が実現でき

れば、川越市が、人にも動物にもやさしいまちになると思います。たいへんによい提案であると思います。今後の参考にさせていただきます。以上でございます。

山元智太郎議長 これ、「GREEN team」の質問を終わります。

次に、「みんなを安全にし隊」。

(会派「みんなを安全にし隊」登壇)

小松巧議員 私たちの会派名は「みんなを安全にし隊」です。

私は代表者の南古谷小学校の小松巧です。

会派の仲間を紹介します。

古谷小学校の山田眞椰です。

牛子小学校の井上結聖です。

寺尾小学校の鈴木優平です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

鈴木優平議員 私たち「みんなを安全にし隊」は、お年寄りや車いすにのっている人たちも、安全にまちを歩けるようにしたいと思うので、安全な道路について質問しようと考えました。

安全な道路について、みんなで意見を交換したところいくつか聞きたいことができましたので教えてください。

時の鐘周辺の道路はガタガタしていますが、どのような安全対策をしていますか。

川越の中でスロープをたくさんつけるなど安全に気をつけていることはありますか。教えてください。

山田眞椰議員 私たち「みんなを安全にし隊」は、お年寄りや車い

すのっている人たちも安全にまちを歩けるようにしたいという理由から、お年寄りや車いすのっている人たちが、転んでケガをしないように平らなタイルを隙間なくつめれば、転んでケガをする人が減ると考えました。

ほかに、体が不自由な人でも簡単に歩けるように、スロープをつけて、安全にだれでも通れる道をつくって、将来はもっと安全な川越になってほしいと考えました。

これで私たち「みんなを安全にし隊」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(野原英一建設部長登壇)

野原英一建設部長 「みんなを安全にし隊」の皆様のご質問にお答えいたします。

川越市は古くから城下町として栄えてきましたが、この歴史的なまち並みが色濃く残る市街地で、まち並みの風景との調和を図りながら、安全で快適な道路をつくるために、電柱を取り除いたり、石の舗装材料を使った道路工事を行っております。

時の鐘前の道路をはじめといたしまして、周辺では長壽院、養寿院、行伝寺の各門前の道路整備が完成していますが、一番街の大通りでも、歩行者が通る部分に石の舗装材料が使われております。

ご指摘のとおり、舗装材料として使っている石の表面がゴツゴツしていたり、あるいは石と石の隙間が大きいと、ガタガタの原因にもつながります。

最近では、歩行者が滑らない程度に石の表面を平らにしたり、表面積の大きな材料を使うことによって、石と石の隙間を減らすなどの工夫をしております。

今後は、平らなタイルを隙間なく敷き詰める。というご提案内容を参考にさせていただきながら、誰もが安全に歩ける道路づくりをさらに進めていきたいと考えています。

次に、スロープが必要な場所は、交差点をはじめ歩道と車道に段差があるところが多いですが、なかなか解消しきれっていない状況でございます。

しかしながら、ご提案いただきましたとおり、段差の解消をはじめ、幅の広い歩道の整備や、電柱の除去など様々な工夫を凝らしながら、誰もが安全に川越のまちを歩けるようにする必要があると考えております。

実現するには大きな課題を抱えた場所もございますが、議員の皆さんが言われるとおり、子どもや高齢者、障害のある人など、誰もが安心して歩ける道づくりは、魅力的な川越をつくって行くうえで、とても大切なことだと思います。

川越に住んで良かった。住んでみたい。また川越に遊びに来たい。そう思っていたくような美しいまちづくりに全力で取り組んでいきたいと思っております。

もっと安全な川越になってほしいという会派「みんなを安全にし隊」の皆さんのやさしい気持ちと、たくましい意気込みを励みに、今後も一生懸命に道づくりを進めてまいります。

大変に貴重なご質問ありがとうございました。

山元智太郎議長 これでは「みんなを安全にし隊」の質問を終わります。

一般質問の途中ではありますが、ここで、副議長に交代いたします。ご協力ありがとうございました。

暫時休憩いたします。

午前九時五十七分 休憩

午前十時十分 再開

内田瑠菜副議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここから私、芳野中学校の内田瑠菜が議事を進めます。よろしくご協力をお願いします。

一般質問を続行いたします。「かわごえお仕事事務所」。
(会派「かわごえお仕事事務所」登壇)

佐藤理子議員 私たちの会派名は「かわごえお仕事事務所」です。

私は代表者の霞ヶ関東中学校の佐藤理子です。

会派の仲間を紹介します。

霞ヶ関中学校の藤村紗耶です。

川越西中学校の武田淳志です。

名細中学校の姫野愛菜です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

武田淳志議員 私たち「かわごえお仕事事務所」は、市民の仕事について一般質問します。理由は、私たちが成人になった時、就職難ではなく、誰もが安定した職業につけるようになってほしいと思うからです。

市民の仕事について、いくつか質問しますので、教えてください。

川越市が行っている就職難についての政策はありますか。二ト、フリーターの人数は、どのくらいですか、職についていない成人はどれくらいいますか。教えてください。

現在、失業者になっている人が多いので、十年後には誰もが安定した職業につけるようになって、安定した生活を送れるようになってほしいです。そのためには、市が仕事をつくっていただけると良いと思います。

姫野愛菜議員 例えば、小江戸のまち並みを整えるという仕事をつくれば、その仕事のために木などの材料を運ぶ人、ペンキをぬる人、実際に工事をする人など、たくさんの人々を雇う事ができます。また、その仕事について、広報などで広く募集したり、意見箱で仕事について、市民の声を聴くなどの取り組みをしたほうが良いと思います。

資料の左下を見て下さい。広報にこのような記事をのせれば、沢山の人が仕事に関心をもってくれると思います。ぜひ、十年後には、このような政策が実現していると良いと思っています。

これで私たち「かわごえお仕事事務所」の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。(拍手)

(宇津木二郎産業観光部長登壇)

宇津木二郎産業観光部長 「かわごえお仕事事務所」の皆さんのご質問にお答えします。

まず、川越市が行っている就職難についての政策でございます。今年の十月一日に市の雇用支援課と、国のハローワーク川越が協力して「川越しごと支援センター」をオープンしました。

このセンターでは、仕事を探している人の相談にのったり、仕事を紹介したり、就職に役立つ研修会などを開催したりしています。

次に、二ト、フリーターの人数でございますが、国が実施した国勢調査によりますと、平成二十二年十月一日現在の川越市内の二

ートの人数は、十五歳から三十四歳までで一、九九三人となっております。これは回答していただいた人数ですので、回答していない人数を含めるともっと多くなると思われます。

次に、フリーターの人数でございますが、川越市の人数を示すデータがないため、国勢調査を基に、埼玉県内のフリーターの割合を川越市に当てはめ計算しますと、十五歳から三十四歳までで一、二五〇人となり、就業している人のうち約四人に一人が、パートやアルバイトとして働いている状況でございます。

次に、職についていない成人とのご質問でございますが、国勢調査によりますと、川越市における職についていない二十歳以上の成人でございますが、九、六六七人となっております。

次に、安定した生活を送れるよう、市が仕事をつくっていただくと良いとのご提案いただきました。小江戸のまち並みを整えるという仕事は、道路の整備や、市民のための施設の建設や、修繕などの公共事業を行うことで、市内の事業所がその仕事を請け負い、多くの人を雇い入れることができます。

さらに多くの人が安定した職業に就き、安定した生活を送れるようにするためには、市内の商店街の支援や、工場等の誘致などによる商業や工業の振興を図ること、小江戸の歴史を活かした観光政策を展開していくことなどによる、地域の活性化が必要であると考えております。

また、仕事について、広報などで広く募集したり、意見箱で仕事について、市民の声を聴くなどの取り組みをしたほうが良いとご提案をいただきました。

広報やホームページなどを活用し、広くお知らせすること、意見箱により市民の声を聴くことは、仕事に関することだけではなく、

市が何かに取り組み際には、大変有効な手段であると考えております。

「かわごえお仕事事務所」の皆さんのご意見を聞かせていただき、皆さんが難しい課題を一生懸命考えていただいたということが、良く伝わってきております。ご意見のように誰もが安定した職業に就いて、安定した生活を送れるようにすることは、これからの社会で、最も力を入れなければならない課題の一つだと思っております。私たちもその目標に一步でも近づけるように、一生懸命努力していきたいと考えております。

ご提案ありがとうございます。以上でございます。

内田瑠菜副議長 これまで「かわごえお仕事事務所」の質問を終わります。

次に、「環境の川越」。

(会派「環境の川越」登壇)

芳賀一寿議員 私たちの会派名は「環境の川越」です。

私は代表者の霞ヶ関小学校の芳賀一寿です。

会派の仲間を紹介します。

大東東小学校の福垣萌香です。

大東西小学校の白石沙哉です。

霞ヶ関南小学校の西原実優です。

これから一般質問を行いますので、よろしく願います。

西原実優議員 私たち「環境の川越」は、森林について一般質問をします。理由は、森林は、熱中症対策や二酸化炭素も吸うので、空気がキレイになると思ったからです。

森林について、いくつか質問しますので教えてください。最近、まわりの森の木が切られているのですが、どのくらい木があるのですか。河原の公園やサイクリングロード、駅前などに木を植えればいいと思っていますが今はどういう状況ですか。教えてください。

森林を人が集まる場所などに植えて、将来はもっとクリーンな川越になってほしいと思っています。また、いつまでも空気のキレイな川越になってほしいと思っています。

白石沙哉議員 そのためには、サイクリングロードや駅前などに木を植えた方がいいと思います。そして、サイクリングロードには日陰をつくり、休める場所を増やしてほしいと思っています。

駅前にも花や木を植えて、空気をキレイにすれば、みんなが歩きやすい場所になると思います。ぜひ、将来にはこんな快適な森林の多い場所が、川越市内にたくさんできるようになってほしいと思っています。

これで、私たち「環境の川越」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(森政一環境部長登壇)

森政一環境部長 ご質問にお答えします。

川越市にはどのくらいの木があるのですかというご質問ですが、森は、あたらしい空気をつくったり、地球の気温が暑くならないように防いでくれたり、皆さんの気持ちを癒してくれたり、良いところがたくさんあります。

川越市の森は、面積で言いますと、約四平方キロメートルあります。これは、市内にある初雁球場の面積の約九十倍に相当します。

次に、河原の公園などに木を植えたらというご質問ですが、いろ

いろな場所に木があつたら、もっともつと住みやすく気持ちの良い毎日が過ごせると思います。

皆さんが利用する公園やサイクリングロード、駅前、それぞれ管理をする人がいて、毎日、気持ちよく利用してもらうために木や花の管理を行っています。

いろいろな場所に木を植えたいのですが、場所によっては、木を植えることが難しい場所もありますので、花壇に花を植えたり、芝生を張ったりして、緑をできるだけ増やしています。

今後も各施設などに適した緑を増やしていければいいと感じておりますので、皆さんと一緒に緑を増やしていけるよう、いろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。以上でございます。

(宍戸信敏副市長登壇)

宍戸信敏副市長 「環境の川越」の議員の皆さんのご提案にお答え申し上げます。

ご提案いただきました内容は、将来の地球環境にとりまして、とても大事なことであると考えております。

また、サイクリングは、健康にもいいし、ガソリンなどの燃料が不要でございますから、排気ガスも出ないので、とても環境にやさしいといえると考えております。サイクリングロードの休憩スペースなどに木陰となる木を植えれば、身体を休めることができ、気持ちもほっとしますし、もっと自転車を利用する人が増えて、川越市全体がクリーンなまちになると考えております。

また、駅は、川越市へ訪れる方や、市民の皆さんが利用される市の玄関口でございます。議員の皆さんのご自宅でも、玄関をきれいにしていると、出かけたり帰ってきたりする時など、とても気持ち

が良く感じると思います。皆さんのご自宅と同じように、駅や駅前もきれいに掃除しておくことで、利用する人は気持ちも良いし、皆さんが行きやすい場所にもなると考えます。

市といたしましても、議員の皆さんがこれから先、大人になられましても、よりクリーンな川越でいられるよう、これからも環境について議員の皆さんと一緒に考え、かつ努力をしていきたいと考えております。大変参考となる貴重なご意見どうもありがとうございます。

内田瑠菜副議長 これまで「環境の川越」の質問を終わります。

次に、「私たちが変える！川越」。

(会派「私たちが変える！川越」登壇)

吉田周平議員 私たちの会派名は「私たちが変える！川越」です。

私は代表者の大東中学校の吉田周平です。

会派の仲間を紹介します。

南古谷中学校の山元智太郎です。

高階中学校の内田優衣です。

高階西中学校の奥原梓です。

福原中学校の貞松菜々子です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

内田優衣議員 「私たちが変える！川越」は、子どもたちに、川越の良さを知ってもらい、誇りに思ってもらいたいという理由から、今の教育の問題点を解決し、百周年につなげようというテーマを決め、教育問題について、質問しようと思いました。

意見交換をしたところ、聞いてみたいことが出てきましたので教

えてください。現在、私たちの学校では、理科の実験器具などの備品の中で不足しているものがあります。備品の配分についての対策を教えてください。そして、対策をしているならば、対策の強化をお願いします。対策をしていないのであれば、学校と教育委員会の連絡強化などの対策を提案します。

奥原梓議員 また、私たちは先ほど申し上げたテーマと、その理由から、百周年という節目の年に、川越が市になってから、百年間ということに焦点をあてた、博物館での特別展示や体験学習を行うことを提案します。

例えば博物館では、川越市ができてからのできごと・生活・文化についての歴史をまとめたものや年表、そして百年前の生活体験コーナーなどの展示をしたりすることです。また、学校に体験コーナーを出張して、川越市が出来たばかりの百年前の文化を体験し、学んでいくことです。さらに、先生たちが博物館から物を借り、地域の人を学校に呼んで、借りた物について説明してもらえば、地域の人との交流も深まり、とても良いと思います。そして将来は住んでいる人がもつと誇りに思える川越市に変えていけるように、今は小さい私たちの力ですが、努力していきたいと思えます。

これで「私たちが変える！川越」の一般質問を終了いたします。

(拍手)

(猪鼻幸正学校教育部長登壇)

猪鼻幸正学校教育部長 会派「私たちが変える！川越」の皆さんのご質問のうち、児童生徒の皆さんが、いつも使って学習している理科の実験器具などの中で不足している備品があるとのことですが、その備品の配分の対策についてのご質問にお答えします。

教育委員会では、小学校や中学校の理科の授業で観察や実験をたくさん行い、児童生徒の皆さんに科学的な力をつけてほしいと願っています。

そこで、川越市の予算だけでなく、国から補助されるお金と合わせて、十分な備品が整うよう、各学校から購入したい備品の希望をとり、それをもとに予算を各学校に配分し、学校が備品を購入しています。

教科書の内容が新しくなり、学習する内容が変わった場合でも、皆さんが、十分に実験や観察ができるよう、必要な備品を学校と相談しながら、計画的に整備していきたいと考えています。以上でございます。

(新井孝次教育長登壇)

新井孝次教育長 「私たちが変える！川越」の皆さんのご提案にお答えをいたします。

まず、備品配分の対策強化についてのご提案をいただきました。観察や実験をとおして学ぶことは多く、授業でたくさん行ってもらいたいと思っております。観察や実験を充実させるためには、材料や器具が十分に揃っていることが必要だと思います。

可能な限り予算を配分して、備品の購入ができるように、また、その予算を学校に有効に使ってもらえるように、学校と連絡を十分取り合いながら、教育委員会も努力していきますので、皆さんも学習に励んでください。

次に、百周年という節目の年に、川越が市になってから、百年間ということに焦点をあてた特別展示や体験学習の実施についてのご提案をいただきました。

皆さんのように、これからの未来を創っていく子どもたちに、過去の偉業や文化を伝え、過去の出来事から学べる場をつくることはとても大切なことだと思っています。また、ご意見のように、地域の方々と交流しながら、川越の文化を体験することは、地域社会を形成する上でも、とても効果的なことだと思います。

百周年目にあたる平成三十四年度には、百年を振り返り、主な出来事や暮らしの様子がわかる資料を中心とした、特別展の開催を考えてみたいと思います。またさらに、特別展に合わせて、体験を通して当時の様子を理解できるような内容も考えていきたいと思っています。

皆さんのご提案を聞かせていただき、「住んでいる人がもっと誇りに思える川越市に変えていけるように努力していきたい」というご意見が、特に印象的に心に残りました。会派名にもある「私たちが変える」という思いが伝わり、頼もしく思いながらお聞きをいたしました。

ぜひ、この子ども議会で体験したことや、仲間たちと話し合ったことを、将来に役立て、川越を発展させてください。心から期待をしています。ご提案ありがとうございました。

内田瑠菜副議長 これで「私たちが変える！川越」の質問を終わります。

次に、「ときもファミリー」。

(会派「ときもファミリー」登壇)

市岡星南議員 私たちの会派名は「ときもファミリー」です。

私は代表者の芳野中学校の市岡星南です。

会派の仲間を紹介します。

初雁中学校の松本陽介です。

鯨井中学校の小野澤広樹です。

山田中学校の山川梨花です。

これから一般質問を行いますので、よろしくお願いします。

小野澤広樹議員 私たち「ときもファミリー」は、車が運転しにくく、観光客が歩きにくいという理由から、蔵づくりの通りについて質問しようと考えました。

蔵づくりの通りについてみんなで意見を交換したところ、聞いてみたいことが出てきましたので教えてください。車が運転しにくく、観光客も歩きにくいという、蔵づくりの道路の問題について、どのように改善していくかを教えてください。

私たち「ときもファミリー」は、蔵づくりの通りについて、観光客が観光しやすい安全な道路になってほしいと考えました。

松本陽介議員 そのために、路地裏を整備して安全に観光してもらえるようにすること、路地裏にも新しい観光スポットをつくって観光客を増やしていくことを考えました。そうすることによって観光客と住民が共に便利になると思います。

例としては、路地裏をライトアップしたり、神社をパワースポット化したり、お茶菓子のお店をつくって有名にしたり、観光客や住民も楽しめる足ツボをつくったりすることです。

そのようなことをして、将来はもっといろいろな年代の観光客が楽しめるようになり、道路もきれいに整備されていて、より安全な川越になってほしいと考えました。

これで、私たち「ときもファミリー」の一般質問を終了いたします。(拍手)

(藤條聡都市計画部長登壇)

藤條聡都市計画部長 「ときもファミリー」の皆様の質問にお答えいたします。

蔵づくりの通りは、江戸時代の初めにつくられてから現在まで、ほとんど変わらない姿で残っております。城下町の道路ですから、敵に一気に攻められないように、あまり道幅を広くつくったりしなかつたようです。そのため、道幅が一番狭い所で九メートル、一番広い所でも十一メートルとなっております。そのうち車道部分が六メートルあります。ですから実質的に歩ける場所は、片側で一メートルから二メートル五十センチ程度の幅しかなく、正式な歩道にはなっておりません。

以前はこの通りを広げる計画もあつたのですが、そのためには蔵づくりの建物を壊さないと広げることができないため、蔵づくりの建物を保存するということを優先しまして、道路はこのままの道幅にすることに決めました。

このように、蔵づくりの通りは、まだ自動車も発明していない昔からある道路なので、現代のような多くの自動車交通量に対応できていかなかったり、歩行者が安心して歩ける歩道をつくったりすることができないままになってしまっているのです。

そのため、市では蔵づくりの通りの使い方を工夫することで、問題を解決できないかと考えまして、地域の皆様と話し合いを始めました。そして、平成二十一年には実験的に蔵づくりの通りを一方通行にしてみたり、歩行者天国にしてみたりと、こういう実験を行いました。現在はその実験の結果を基に、より良い解決策を話し合っているところです。

いずれにいたしましても、蔵づくりの通りは川越市の観光の中心になっている所です。毎年多くの観光客の皆様が蔵づくりのまち並みを楽しみに訪れています。将来にわたって、蔵づくりのまち並みを残しながら、市民の皆様も、観光客の皆様も安心して歩け、川越に来て良かった、と思っただけに過ぎないような道路にしていきたいと考えております。以上です。

(川合善明市長登壇)

川合善明市長 ご答弁申し上げます。蔵づくりの通りと周辺の路地裏の整備についてのご提案をいただきましてありがとうございます。

一番街に電線がないことは、皆さんご存知だと思いますが、一番街につながる路地につきましても、電線を地中化したり、道路面を石畳にしたりした整備を行っています。

こうした区域を、もう少し広げていく予定でいます。そうすることで、楽しくまちを歩いてもらって、点々と存在している観光スポットを広い面で見ただけのようになると思っております。

次に、路地裏に新しい観光スポットをつくって観光客を増やしていくという提案ですが、一番街は非常に多くの観光客が訪れていますが、観光客の皆さんが安心して、安全に川越の観光を楽しんでいただけるよう、路地の整備を進めると共に、路地にも観光スポットをつくるなどの工夫をしていきたいと思っております。

今後、整備を予定しています。松江町二丁目の「旧山崎家別邸」は、埼玉りそな銀行の裏通りに面していますし、川越がかつて織物の産地であったことを証明する「旧川越織物市場」は、蓮馨寺の門前通りである立門前通りに面しています。

路地を整備すると共に、路地に新たな観光スポットが生まれるこ

とは、観光客の周遊性が増し、より多くの観光客に訪れていただけるようになると思っております。

「ときもファミリー」の皆さんにご提案いただいた、裏通りをライトアップしたり、神社やお寺をパワースポット化し、寺社とつながる門前通りを整備することは、効果的な方法であると思っております。

皆さんの提案を実行できるよう今後検討し、安全に観光してもらえるようにしていきたいと考えています。以上です。

内田瑠菜副議長 これでも「ときもファミリー」の質問を終わります。

以上で全会派の質問は終わりました。これをもって一般質問を終わります。

日程第 四 決議第 一 号 ともに歩む未来に関する決議

内田瑠菜副議長 日程第四、決議第一号、ともに歩む未来に関する決議を議題とします。

(大河内徹書記 朗読)

決議第一号

ともに歩む未来に関する決議

ともに歩む未来に関する決議を別紙のとおり決議する。

平成二十四年十一月十四日提出

提出者	川越小学校	奥泉彩香
同	芳野中学校	市岡星南
賛成者	新宿小学校	望月聡
同	南古谷小学校	小松巧

同	霞ヶ関小学校	芳賀一寿
同	川越第一中学校	西野航平
同	寺尾中学校	高橋 颯
同	大東中学校	吉田周平
同	霞ヶ関東中学校	佐藤理子

提案理由の説明（奥泉彩香議員、市岡星南議員）

内田瑠菜副議長 提案理由の説明を願います。

（奥泉彩香議員、市岡星南議員登壇）

奥泉彩香議員 決議第一号、ともに歩む未来に関する決議、提案理由の説明を申し上げます。なお、決議案を朗読いたしますので、よろしく願います。

ともに歩む未来に関する決議（案）

私たちは、九十周年を機に、次の十年、さらにその先の未来をもに歩んでいくために、次のことを心がけていきます。

市岡星南議員 一 規則やルールを守り、礼儀正しい生活を心がけます。

二 バランスよく食事をとり、毎日運動し、病気に負けない体をつくるよう頑張ります。

三 思いやりの気持ちを持って、豊かな人間関係を築いていくよう努力します。

四 昔からの伝統と、今ある自然環境をまもるよう努力します。

右 決議します。

平成二十四年十一月十四日

川越市子ども議会
以上をもって、提案理由の説明といたします。よろしく願います。

内田瑠菜副議長 提案理由の説明は終わりました。

質疑・討論・採決

内田瑠菜副議長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

質疑なしと認めます。質疑を終わります。

討論に入ります。討論はありませんか。討論はありませんので、これより本件の採決を行います。

本件を原案どおり可決することに、賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

内田瑠菜副議長 全員起立でありますので、本件は原案どおり可決することに決定いたしました。

閉 会

内田瑠菜副議長 以上をもって川越市子ども議会の議事全部を終わりました。よって、これをもって会議を閉じます。

閉会いたします。

午前十時四十六分 閉会

閉会式（午前十時四十六分）

野口昭彦広聴課長 以上で第一回川越市子ども議会は全部終了いた

しました。これから閉会式を行います。

子ども議会副議長挨拶

野口昭彦広聴課長 最初に、子ども議会の内田副議長からご挨拶をお願いします。

(内田瑠菜副議長登壇)

内田瑠菜副議長 今日はお忙しい中、市長さんをはじめ、皆様方、長時間にわたりご指導、ご協力ありがとうございました。私たちの質問を真剣に回答いただき、大変に嬉しく思います。

私たちは子ども議会議員になり、今日までたくさんの方と交流をして、班の仲間で協力することを学びました。そして、この場で議会を行うことは貴重な体験になったと思います。未来の川越をより良いものにするために、活動してきた私たちの行動は、将来何かに活かすことができると思います。

今日は、初めて、副議長という大役をさせていただきましたが、議員の皆様方のご協力により無事終えることができましたことを、心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。(拍手)

野口昭彦広聴課長 どうもありがとうございました。

教育長講評

野口昭彦広聴課長 続きまして、新井教育長から講評をお願いいたします。

(新井孝次教育長登壇)

新井孝次教育長 教育長の新井でございます。子ども議会議員の皆さん。お疲れ様でした。

今、教育長という立場ですが、私は元教員であったものですから、担任をしたころを思い浮かべながら、この議会を感じています。子ども議会議員の皆さんから多くのご提案をいただきましたことへのお礼と、今後の皆さんの活躍を期待いたしまして、これから若干、講評を申し上げます。

本日、開催されました、この子ども議会は、先ほど市長の方から挨拶がありましたように、市制施行六十周年以来、三十年ぶりの開催になります。

川越市の本物の議事堂で発言することは、とても緊張したと思いますが、どの会派の質問も、大変、立派だったと思います。

今回、皆さんが勉強してきた内容は、皆さんが暮らす川越市についてであります。とても、難しい内容もあつたと思いますが、言い換えれば、それだけ重要な問題でもあります。

これまでの勉強会で、この重要な問題を、皆さんが意見を出し合い、みんなの意見を一つにまとめ上げる作業に、一生懸命取り組んでいたいただいた様子は、同行した職員からもよく聞いております。本当に、皆さん良く頑張ったと思います。

子ども議会の経験はもちろんのこと、自分たちが暮らす地域について考えたことや、一緒に勉強した仲間は一生涯の宝にもなりますので、ぜひ、将来に活かしてほしいと思います。

また、この子ども議会を進行していただいた正副議長さんも、しっかりと進行していただき、立派にその大役を果たされたと思います。最後に、「ともに歩む未来に関する決議」であります。未来に向

けた、皆さんの率直な思いや、意気込みを感じることものできる、素晴らしい決議文だと思います。今回、決議した内容を心がけ、楽しく、元気に、充実した学校生活を送ってください。

皆さんの未来、そして将来にわたっての活躍を心から願って、私の講評といたします。ありがとうございます。

野口昭彦広聴課長 どうもありがとうございます。以上を持ちまして閉会式を終わります。

午前十時五十一分 終了

会議の結果

日程第 四 決議第 一号 とともに歩む未来に関する決議

原案可決

署 名

以上の会議の正当なことを証するため、議長、副議長並びに署名議員3名が署名する。

川越市子ども議会議長	山 元 智太郎
同 副議長	内 田 瑠 菜
署 名 議 員	望 月 聡
同	佐 藤 理 子
同	高 橋 颯

一般質問通告事項書

順序	会派名及び議員名	要 旨	掲載ページ
1	交通ネットワーク 野村 祐輔(川越第一小学校6年) 奥泉 彩香(川越小学校6年) 江島 竜星(芳野小学校6年) 澤田 綾乃(山田小学校6年)	自転車レーンが少なく、危ないということから、整備された、安全な道路になってほしい。	6～
2	STOPポイすて きれいな川越 内田 瑠菜(芳野中学校2年) 椛澤 彩乃(野田中学校2年) 田邊 有紗(城南中学校2年) 高橋 颯(寺尾中学校1年) 内田 龍之介(砂中学校1年)	ポイ捨てをなくして川や森林をきれいにしたい。	7～
3	ストップ無駄遣い！ 松田 千尋(武蔵野小学校6年) 望月 聡(新宿小学校6年) 廣瀬 毬子(大塚小学校6年) 村中 皓(福原小学校6年)	市民との話し合いの中から、本当に必要なものが決まって行くようになってほしい。	9～
4	GREEN team 西野 航平(川越第一中学校2年) 吉崎 奈園(富士見中学校1年) 吉田 絵里佳(寺尾中学校2年) 菊嶋 彪人(山田中学校1年)	緑を増やして、人も動物も快適な場所をつくってほしい。	12～
5	みんなを安全にし隊 山田 眞椰(古谷小学校6年) 小松 巧(南古谷小学校6年) 井上 結聖(牛子小学校6年) 鈴木 優平(寺尾小学校6年)	お年寄りや車いすにのっている人たちも安全にまちを歩けるようにしたい。	13～
6	かわごえお仕事事務所 藤村 紗耶(霞ヶ関中学校1年) 佐藤 理子(霞ヶ関東中学校2年) 武田 淳志(川越西中学校2年) 姫野 愛菜(名細中学校1年)	10年後には誰もが安定した職業につけるようになって、安定した生活を送れるようにしたい。	15～

順序	会派名及び議員名	要 旨	掲載ページ
7	<p>環境の川越</p> <p>福垣 萌香(大東東小学校6年)</p> <p>白石 沙哉(大東西小学校6年)</p> <p>芳賀 一寿(霞ヶ関小学校6年)</p> <p>西原 実優(霞ヶ関南小学校6年)</p>	<p>森林を人が集まる場所などに植えて、将来はもっとクリーンな川越になってほしい。</p>	16～
8	<p>私たちが変える！川越</p> <p>内田 優衣(高階中学校1年)</p> <p>奥原 梓(高階西中学校1年)</p> <p>山元 智太郎(南古谷中学校2年)</p> <p>貞松 菜々子(福原中学校2年)</p> <p>吉田 周平(大東中学校1年)</p>	<p>1 理科の実験器具などの備品の中で不足しているものがあるので、対策の強化をお願いしたい。</p> <p>2 子供たちに、川越の良さを知ってもらい、誇りに思ってもらいたい。</p>	18～
9	<p>ときもファミリー</p> <p>松本 陽介(初雁中学校1年)</p> <p>市岡 星南(芳野中学校1年)</p> <p>小野澤 広樹(鯨井中学校2年)</p> <p>山川 梨花(山田中学校2年)</p>	<p>蔵づくりの通りについて、観光客が観光しやすい安全な道路になってほしい。</p>	19～

各会派の掲示資料


交通ネットワーク

交通ネットワーク

目標

安全な道路の整備


「理由」
川越は車や自転車の通りが多いから事故の原因となってしまうので、安全な道路を増やして事故防止につなげたいからです。



提案

自転車レーンを作る

自転車レーンを作る事で歩行車が安全に歩ける事ができます。その事で事故防止にもつながります。



市役所前の自転車レーンのある道
←

STOPポイすて きれいな川越

会派名

STOPポイ捨てきれいな川越

目標



ポイ捨てをなくして川や森林をきれいにする。

提案

町全体で定期的にゴミ拾いをし、ポスターなどでよびかけをする。

理由

ポイ捨てをなくせば川や緑がきれいになる。



ストップ無駄遣い!

STOP 無駄遣い

目標

市と市民の意見を合わせたよりよい町にする。

理由

市と市民が話し合うことでよりよい施設を建てることかできると思ったからです。
また、市民と話し合うことで、市民の困っていることを知ることができ、住みやすい町にできるからです。

提案

「市民との話し合いの場を設ける。」
↓
市民の意見を取り入れることでより良い施設を建てることでより良い町になる。



GREEN team


緑を増やして外でも快適な環境を作る!

緑が少ない川越に →

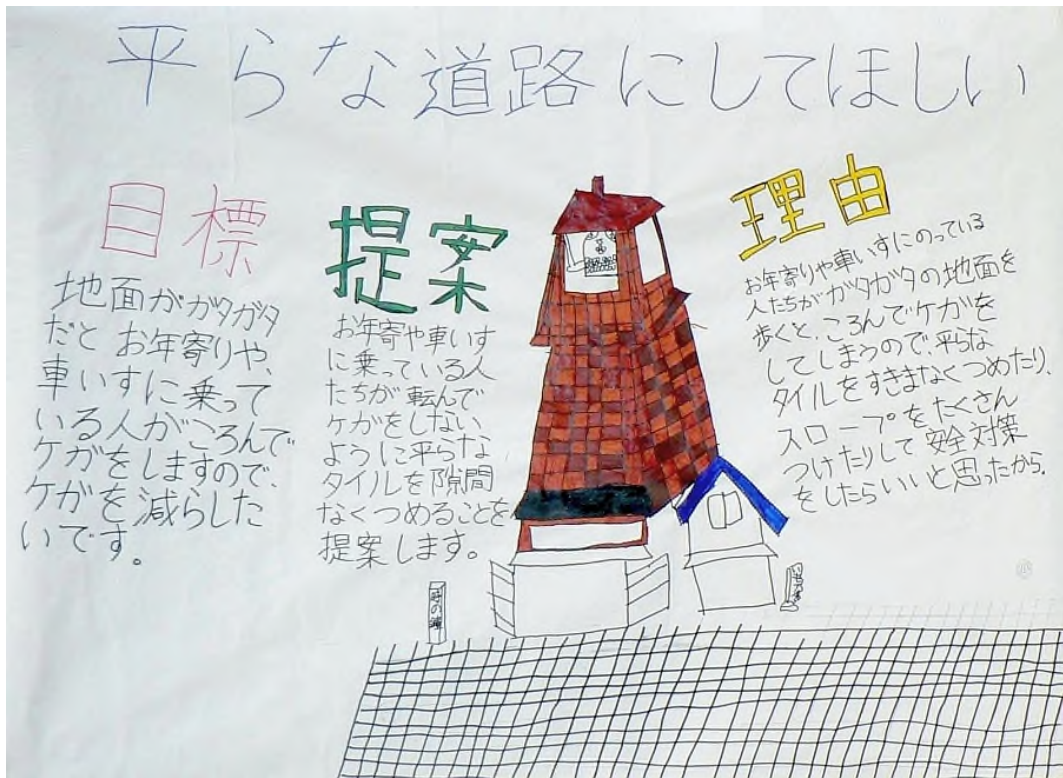
GREEN team

〈住宅地〉
町内などで花だんを作る活動を増やす。

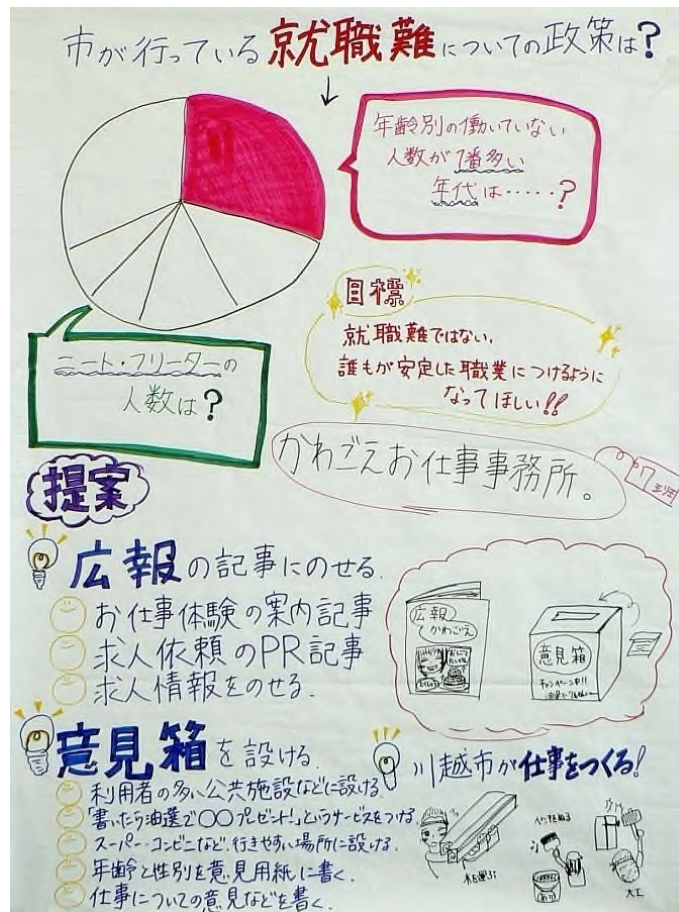
〈観光地〉
いろんなところに小さい木を植えたり、所々にのどが濁った時のために水道をつくる。

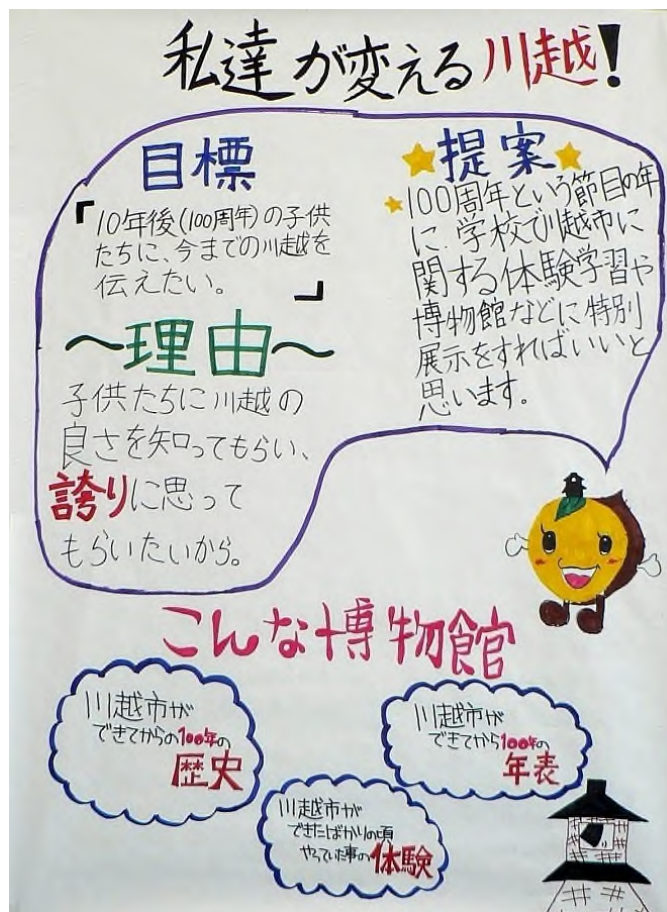


みんなを安全にし隊



かわごえお仕事事務所







ときもファミリー



質問

蔵づくりの通りの道路
では、車も運転しにくく、
観光客も歩きにくいです。
どのように改善していく
のですか。

目標

観光客が観光しやすい
道路をつくる。

提案

- ろじ裏を整備して安全に
観光してもらう。
- ろじ裏にも新しい観光
スポットをつくる。
 - ・ 夜に道をライトアップする。
 - ・ 知名度の低い神社をパワースポット化する。
 - ・ 観光客や住民も楽しめる、足つぽスポットを
つくる。
 - ・ お茶菓子やさんをつくり、有名にする。

子ども議会だより